



広島県内経済情勢報告

～広島県の経済情勢について～

令和7年11月6日
財務省 中国財務局

【お問い合わせ先】
中国財務局経済調査課
電話 (082) 221-9221

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある」

項 目	前回（7 年 7 月判断）	今回（7 年 10 月判断）	前回 比較
総括判断	一部に弱さがみられるものの、 緩やかに回復しつつある	一部に弱さがみられるものの、 緩やかに回復しつつある	→

（注）7 年 10 月判断は、前回 7 年 7 月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある。生産活動は、横ばいの状況にある。雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。

【各項目の判断】

項 目	前回（7 年 7 月判断）	今回（7 年 10 月判断）	前回 比較
-----	---------------	----------------	----------

個人消費	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある	→
生産活動	横ばいの状況にある	横ばいの状況にある	→
雇用情勢	緩やかに改善しつつある	緩やかに改善しつつある	→

設備投資	7 年度は前年度を下回る見込み	7 年度は前年度を上回る見込み	→
企業収益	7 年度は減益見込み	7 年度は減益見込み	→
企業の 景況感	「下降」超に転じている	「下降」超幅が縮小している	→
住宅建設	前年を上回る	前年を下回る	→
輸出	前年を下回る	前年を下回る	→

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、物価上昇の継続、米国の通商政策、金融資本市場の変動等の影響に注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある」

業態別にみると、百貨店販売は、猛暑などの影響により来店客数が減少したことから衣料品などが不調で、前年を下回っている。コンビニエンスストア販売は、割安感からおにぎりやパンが好調で、前年を上回っている。スーパー販売は、暑さにより家庭での調理が敬遠されたことから総菜などが好調で、前年を上回っている。ドラッグストア販売は、梅雨明けが早かったことから紫外線対策関連商品などが好調で、前年を上回っている。乗用車販売（新車登録・届出台数）は、新型車の発売が少なかったことなどから、前年を下回っている。このように、個人消費は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある。

（主なヒアリング結果）

- 猛暑による外出控えなどの影響により来店客数が減少したことから、夏物衣料などが不調だったほか、クールビズの浸透により軽装化が進んでおりスーツが不調だった。（百貨店）
- 物価高による消費者の節約志向が続いている中、弁当に比べ比較的割安感のあるおにぎりやパンが好調だった。（コンビニエンスストア）
- 暑くなると火を使う調理が敬遠されるため、揚げ物を中心に総菜が好調だった。お盆など人が集まる時期には、最近はおードブルではなく、各個人の好みに応じて購入できる小容量の商品が好まれている。（スーパー）
- 例年に比べて梅雨明けが早くその後も暑い日が続いた影響により、日焼け止めなどの紫外線対策関連商品が好調だった。（ドラッグストア）
- 新型車の発売が少なかったことなどから販売台数が減少している。また、車の性能向上や販売価格上昇により買い替えサイクルは長期化の傾向がみられる。（自動車販売）

■ 生産活動 「横ばいの状況にある」

輸送機械は、造船で新燃料船の建造需要が増加し、数年先まで手持ちの工事量を確保できていることなどから、増加している。鉄鋼は、造船向けの需要が堅調であることなどから、増加している。電気機械は、EV などの自動車向けの需要が低調であることなどから、減少している。一般機械は、国内外で自動車向けの需要が低調であることなどから、減少している。プラスチック製品は、米国の関税引き上げに伴う駆け込み需要の反動で受注が低調であることから、減少している。このように、生産活動は、横ばいの状況にある。

- 脱炭素の流れを受け、新燃料船の建造需要が増加しており、数年先まで手持ちの工事量が確保できているなど、フル生産が続いている。（輸送機械）
- 在庫が十分な水準であったため生産を抑えたことから、生産量が減少している。（輸送機械）
- 海外で船舶向けの需要が堅調に推移していることから、生産量が増加している。（鉄鋼）
- EV 市場の減速などにより、自動車向けのパワー半導体の需要が低調なことから、生産量が減少している。（電気機械）
- 国内外で自動車向けの需要が低調なことから、生産量が減少している。（一般機械）
- 前期に米国の関税引き上げに伴う駆け込み需要対応で生産を増やしたため、今期はその反動で生産量が減少している。（プラスチック製品）

■ 雇用情勢 「緩やかに改善しつつある」

有効求人倍率は、おおむね横ばいで推移しているほか、新規求人数は、前年を下回っている。一方、法人企業景気予測調査（7 年 7-9 月期）の従業員数判断 BSI でみると、製造業・非製造業いずれにおいても「不足気味」超が続いており、人手不足を背景に企業の採用意欲が高い状況にある。このように、雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。

- 理系人材の新卒採用が難しいなど人材の確保が厳しくなっているため、採用担当者の増員、中途採用の強化などに取り組んでいるほか、製造現場における作業の自動化、DX 化も順次進めていく予定である。（一般機械）
- 募集するものの応募が少ないなど人手不足が続いているため、採用サイトのリニューアルなどにより新卒採用を強化しているほか、省人化や賃上げ、福利厚生充実にも取り組んでいる。（小売）
- スキマ時間を活用して働くなど柔軟な働き方を選ぶ人が増えており、そうした短期・単発の仕事（スポットワーク）に従事する人を活用して、店舗運営に必要な人員の確保に努めている。（小売）

■ 設備投資 「7年度は前年度を上回る見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」7年7-9月期

- 製造業では、「食料品」などで減少するものの、「自動車」、「その他製造」などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。
- 非製造業では、「金融・保険」、「宿泊・飲食サービス」などで増加するものの、「電気・ガス・水道」、「運輸・郵便」などで減少することから、全体では前年度を下回る見込みとなっている。

- 中長期的な需要の増加を見込んでおり、新工場の建設を予定。(自動車)
- 前年度の発電関連の大型設備投資の反動により減少。(電気・ガス・水道)

■ 企業収益 「7年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」7年7-9月期

- 製造業では、「その他製造」、「はん用機械」などで増益となるものの、「生産用機械」、「自動車」などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
- 非製造業(除く「電気・ガス・水道」、「金融・保険」)では、「情報通信」などで減益となるものの、「小売」などで増益となることから、全体では増益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超幅が縮小している」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」7年7-9月期

- 企業の景況判断BSIは、「下降」超幅が縮小している。なお、先行きは「下降」超幅が拡大する見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回る」

- 新設住宅着工戸数でみると、給与住宅が増加しているものの、貸家、分譲住宅などが減少していることから、前年を下回っている。

■ 輸出 「前年を下回る」

- 輸出(円ベース)は、一般機械が増加しているものの、自動車、鉄鋼などが減少していることから、前年を下回っている。地域別では、北米、アジアなどで減少している。
なお、輸入(円ベース)は、石炭、電気機器などが減少していることから、前年を下回っている。地域別では大洋州、アジアなどで減少している。

広島県内経済情勢報告

(令和7年11月6日)

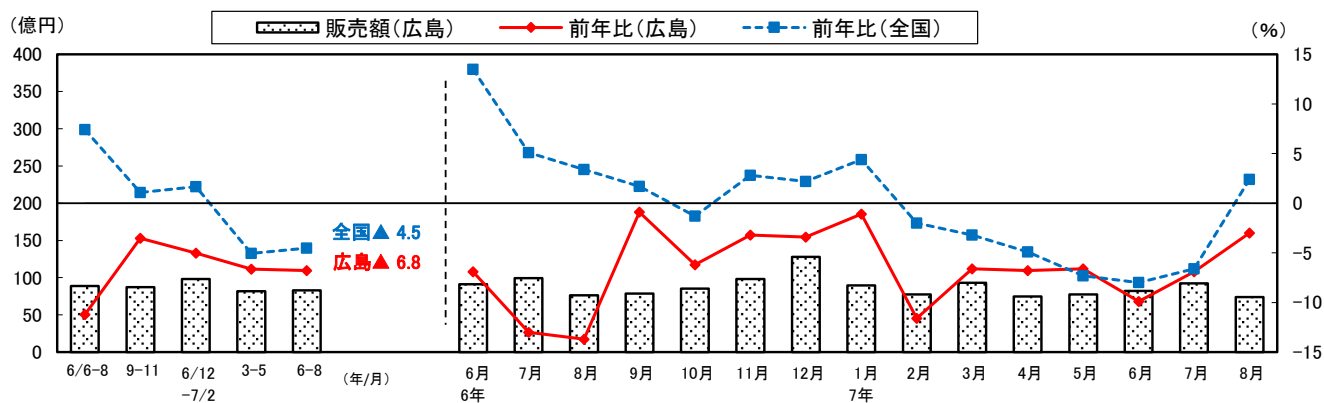
資料編

目次				ページ
1.	個	人	消 費	----- 1
2.	生	産	活 動	----- 3
3.	雇	用	情 勢	----- 4
4.	設	備	投 資	----- 5
5.	企	業	収 益	----- 5
6.	企	業	の 景 況 感	----- 6
7.	住	宅	建 設	----- 6
8.	輸		出	----- 7

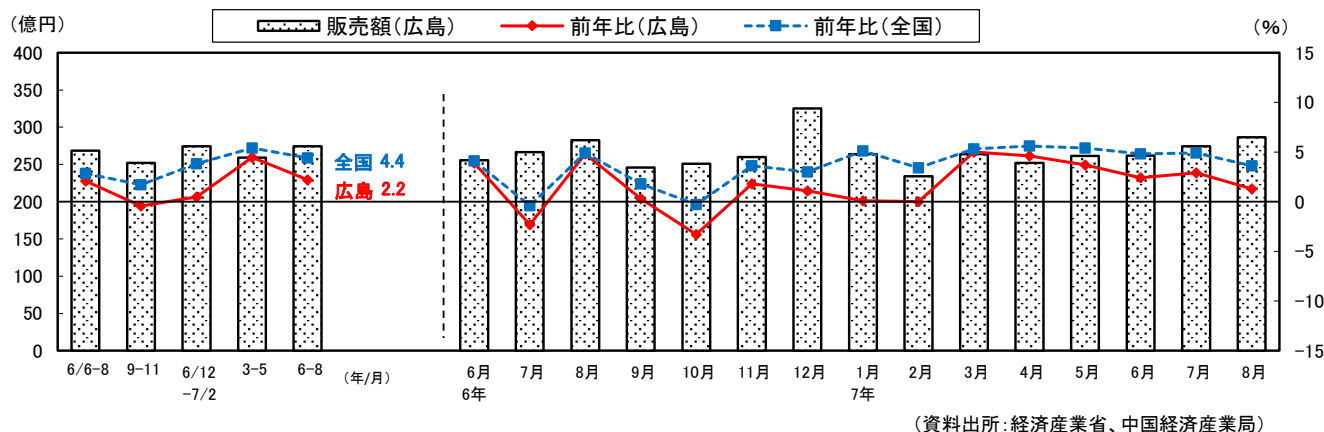
1. 個人消費 一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある

(1) 百貨店販売額(全店舗)

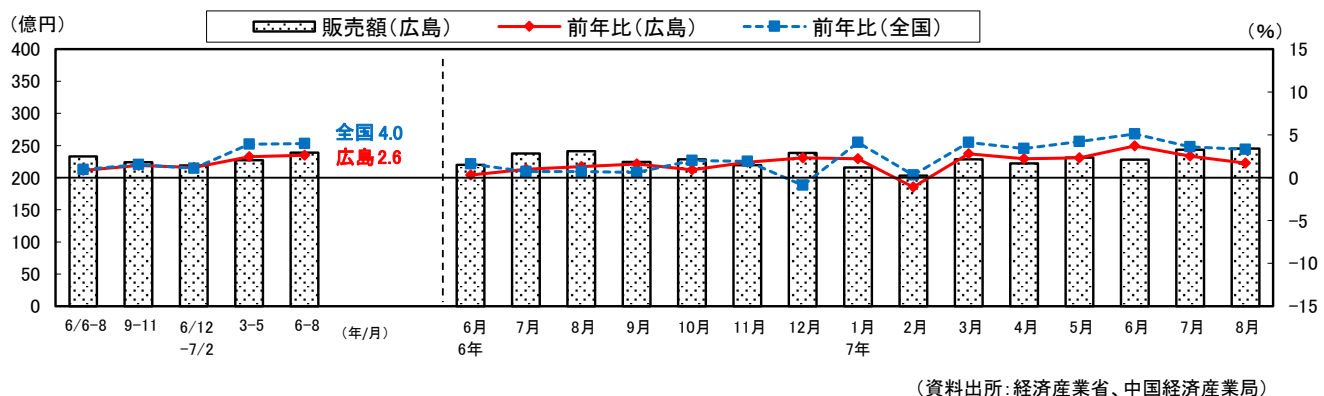
(注) (1)～(6)の各グラフの3か月毎の販売額は、1月あたりの平均を表示



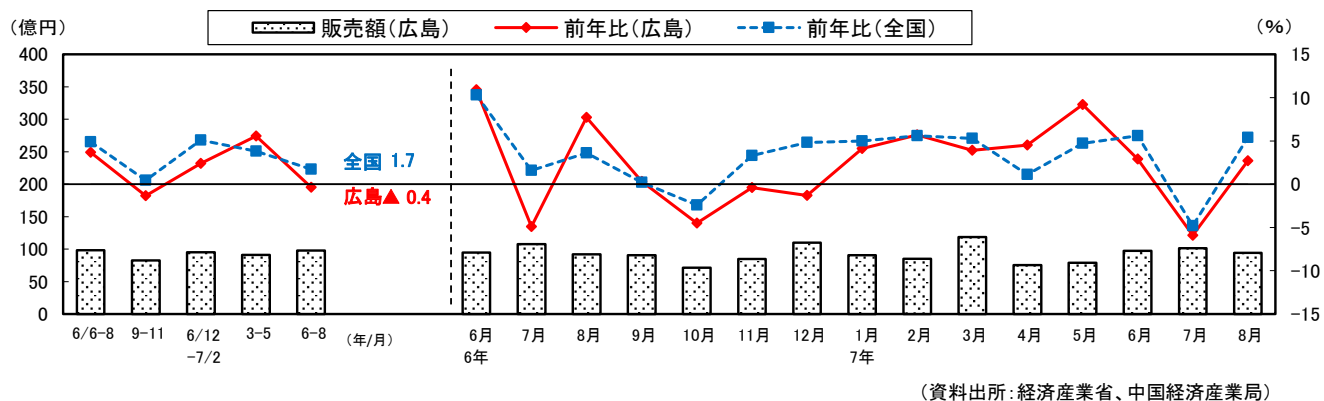
(2) スーパー販売額(全店舗)



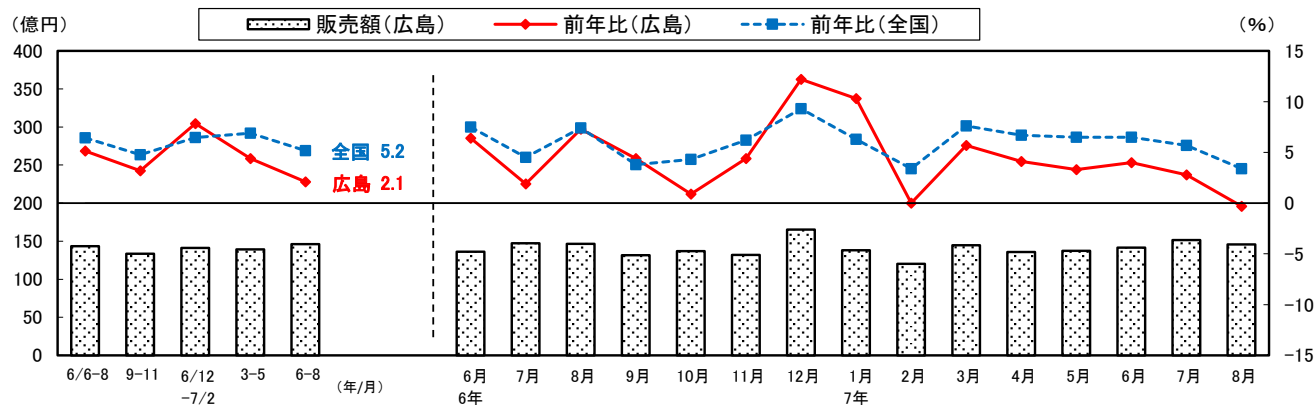
(3) コンビニエンスストア販売額(全店舗)



(4) 家電大型専門店販売額(全店舗)

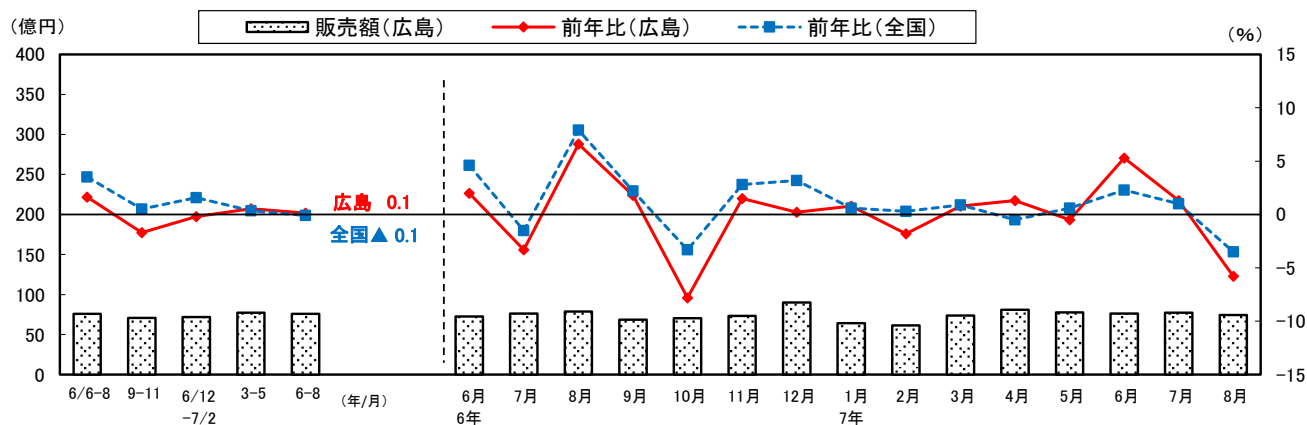


(5) ドラッグストア販売額(全店舗)



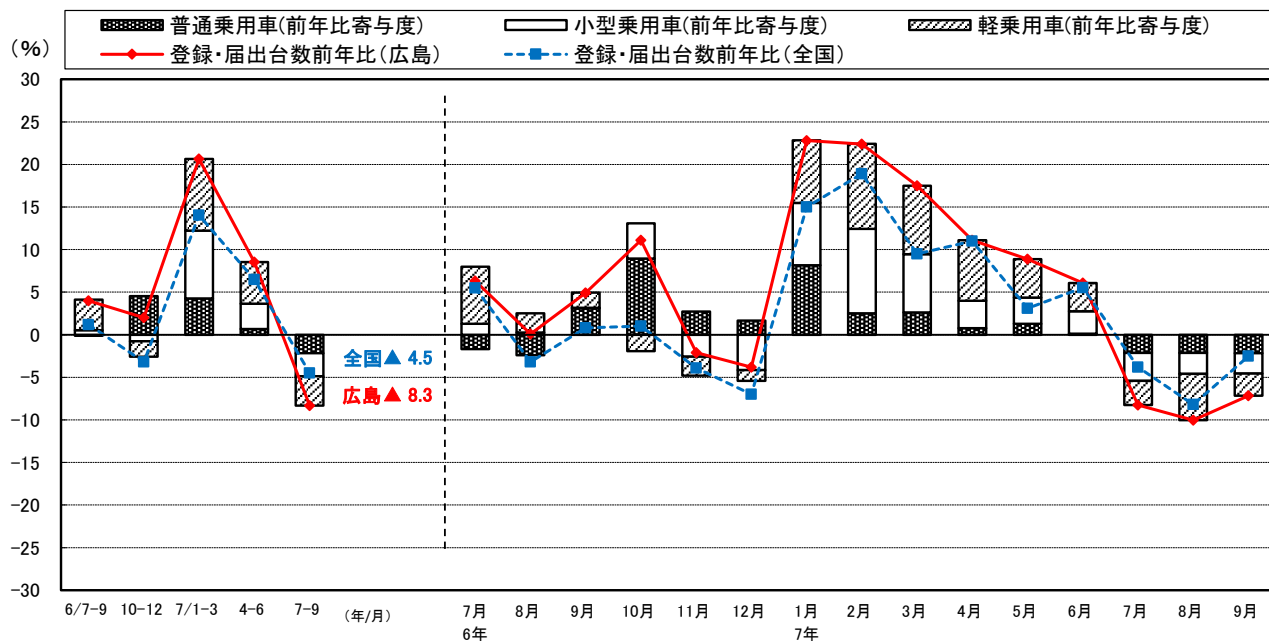
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(6) ホームセンター販売額(全店舗)



(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(7) 乗用車販売(新車登録・届出台数)

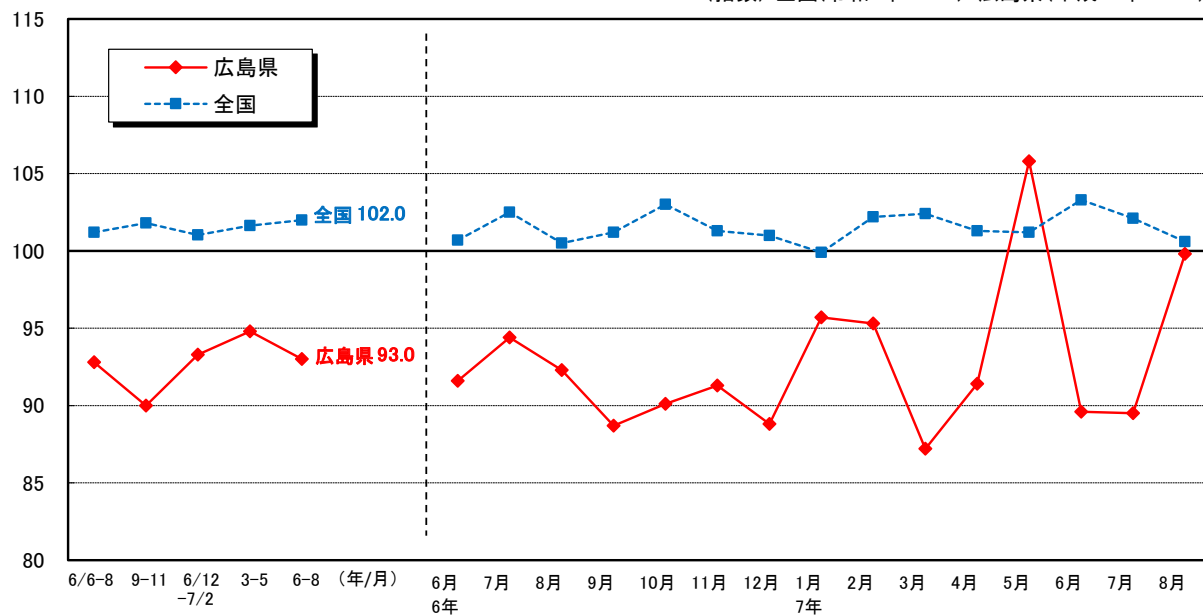


(資料出所: 中国運輸局、日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車販売協会)

2. 生産活動 横ばいの状況にある

(1) 鉱工業生産指数(季節調整値)

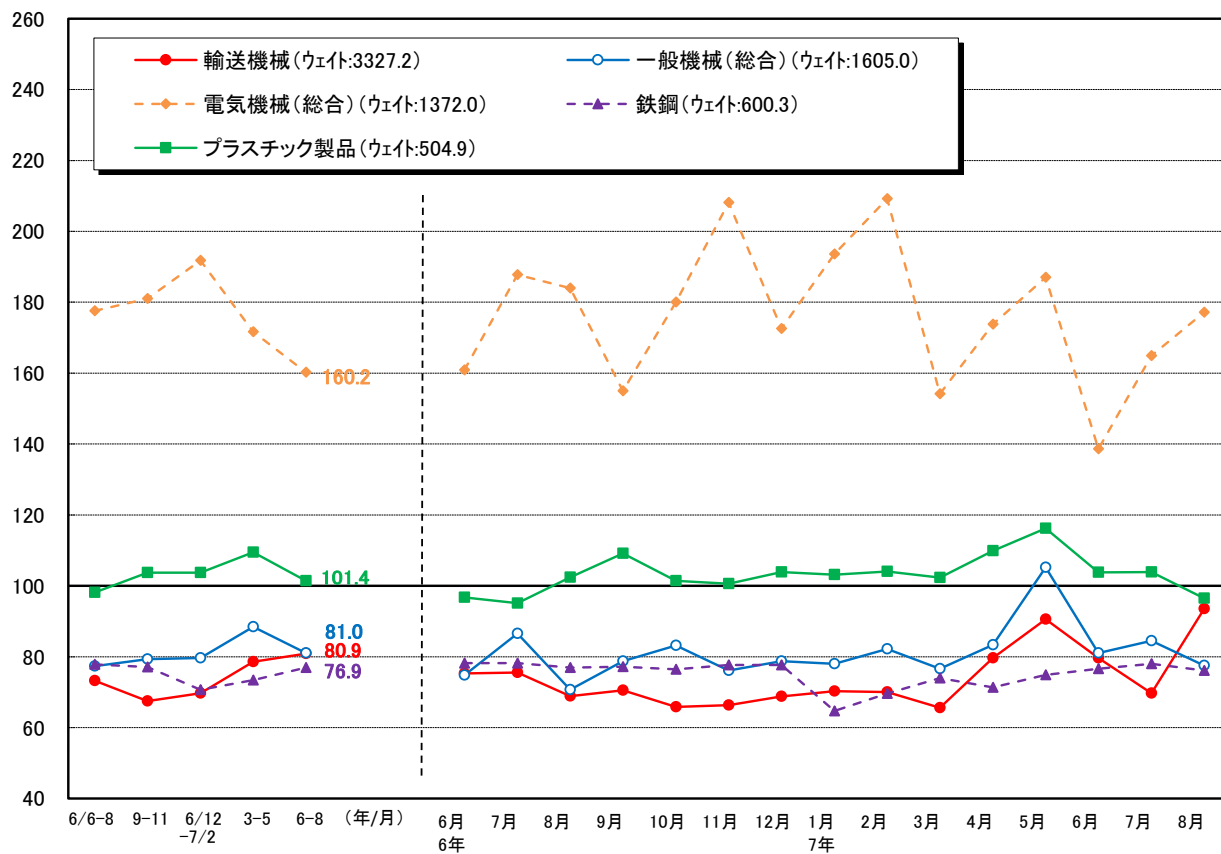
(指数) 全国(令和2年=100) 広島県(平成27年=100)



(資料出所: 経済産業省、広島県)

(2) 県内主要業種別生産指数(季節調整値)

(指数) (平成27年=100)

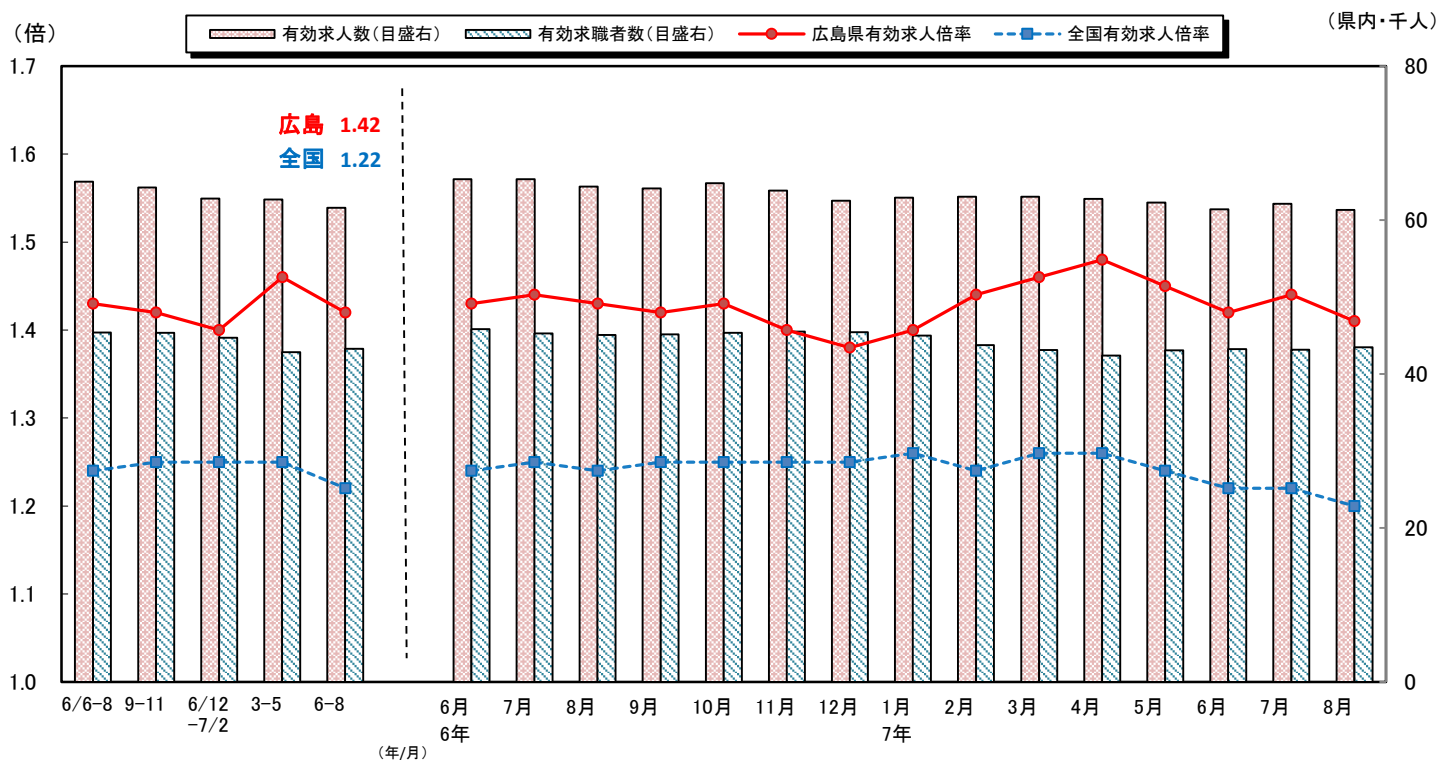


(資料出所: 広島県)

3. 雇 用 情 勢 緩やかに改善しつつある

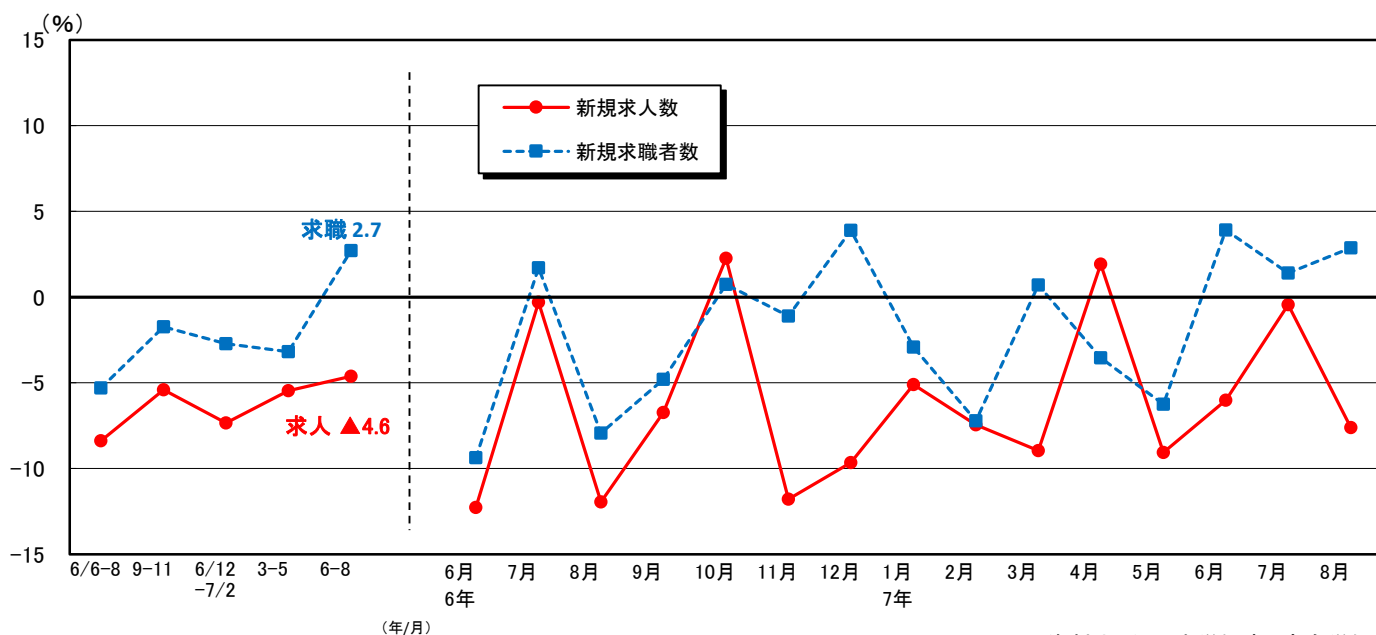
(1) 有効求人倍率、有効求人数・求職者数(学卒を除く、季節調整値)

(注) (1)のグラフの3か月毎の有効求人数と有効求職者数は、1月あたりの平均。



(資料出所:厚生労働省、広島労働局)

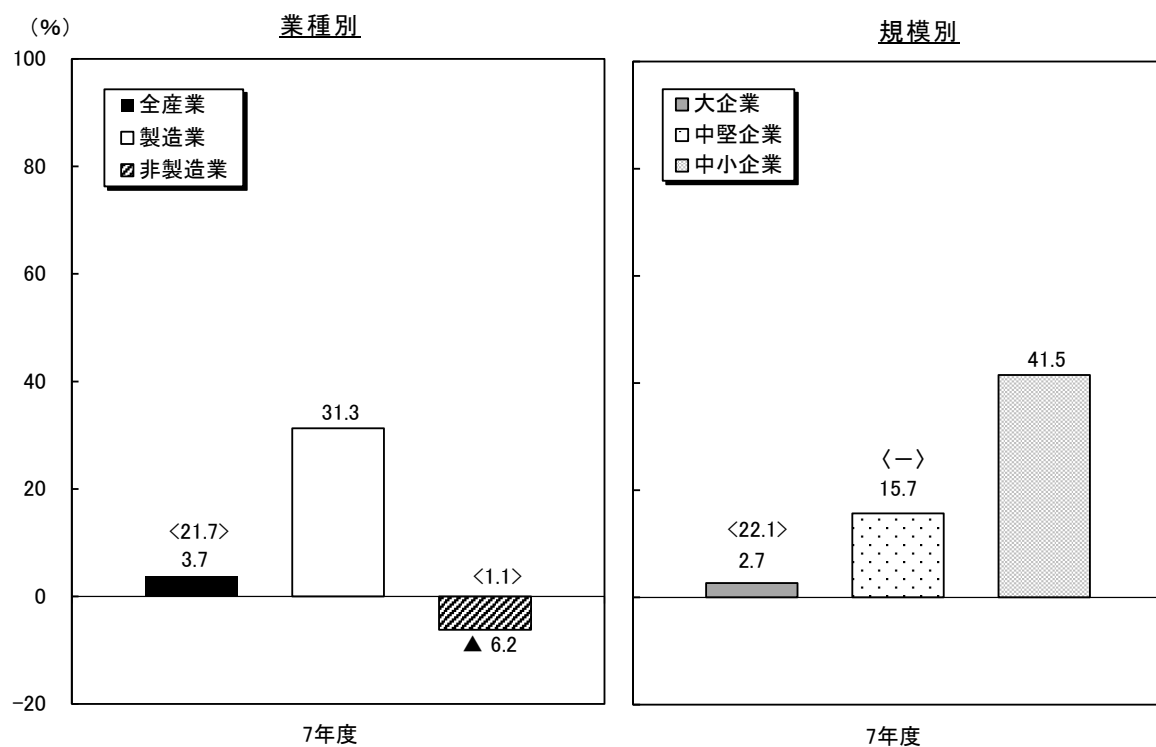
(2) 県内新規求人数・求職者数(学卒を除く、原数値)の前年比



(資料出所:厚生労働省、広島労働局)

4. 設備投資 7年度は前年度を上回る見込み

設備投資額(前年度比)

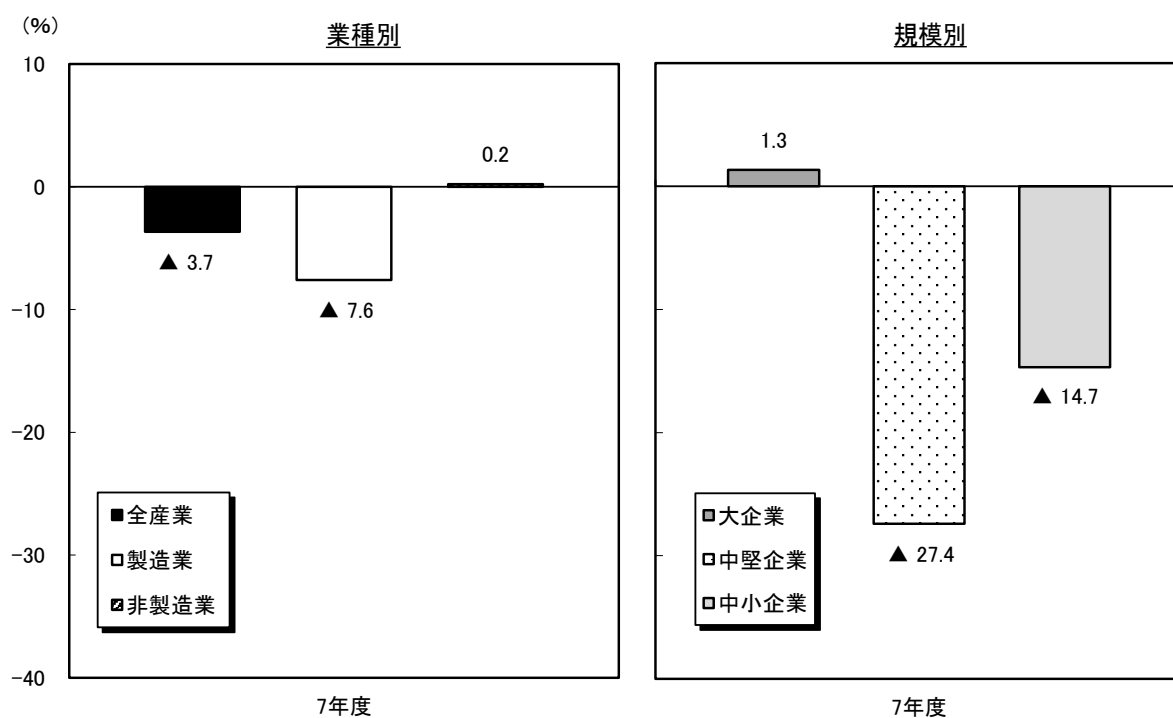


< >書きは電気・ガス・水道業を除く前年度比

(資料出所: 中国財務局)

5. 企業収益 7年度は減益見込み

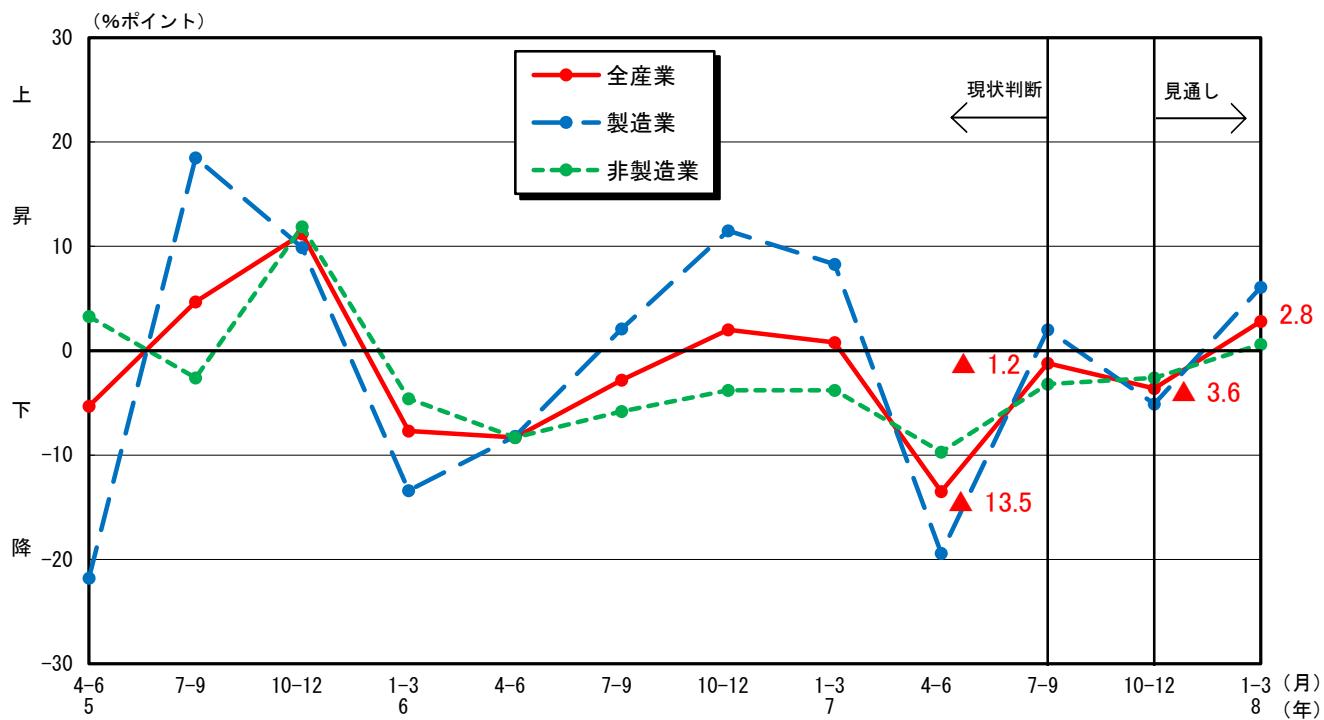
経常利益(電気・ガス・水道業、金融業、保険業を除く: 前年度比)



(資料出所: 中国財務局)

6. 企業の景況感 「下降」超幅が縮小している

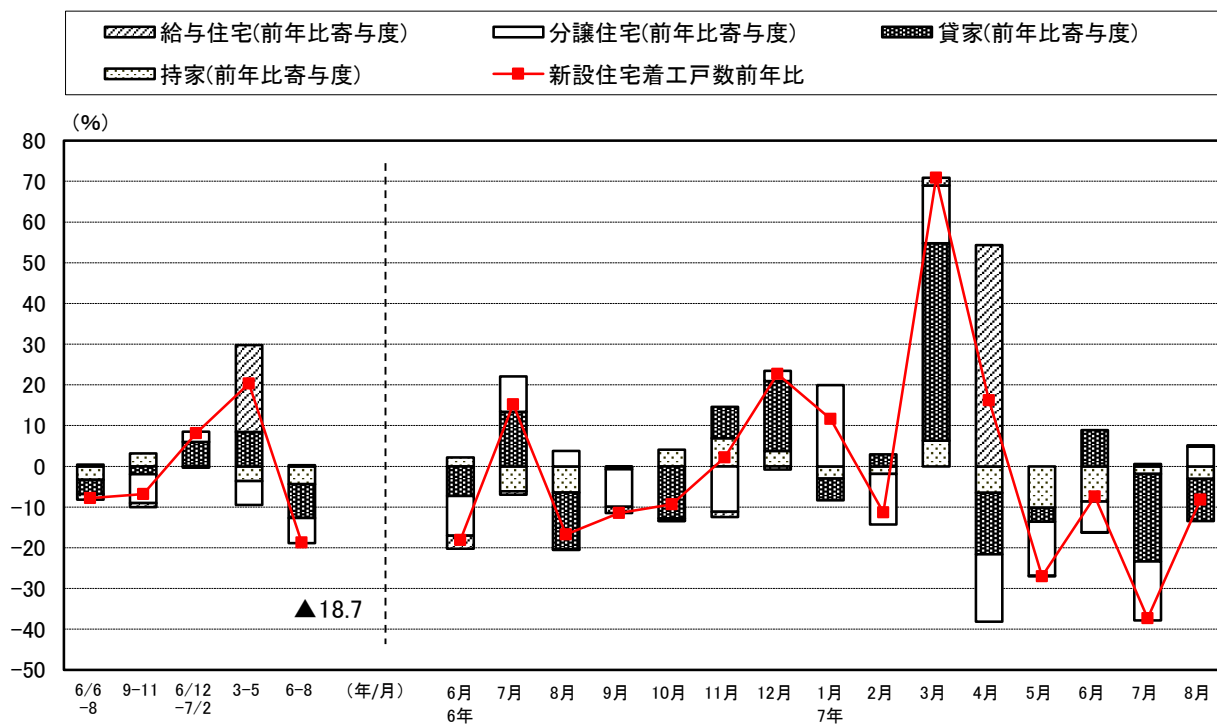
景況判断BSIの推移(原数値) (BSI: 前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)



(資料出所: 中国財務局)

7. 住宅建設 前年を下回る

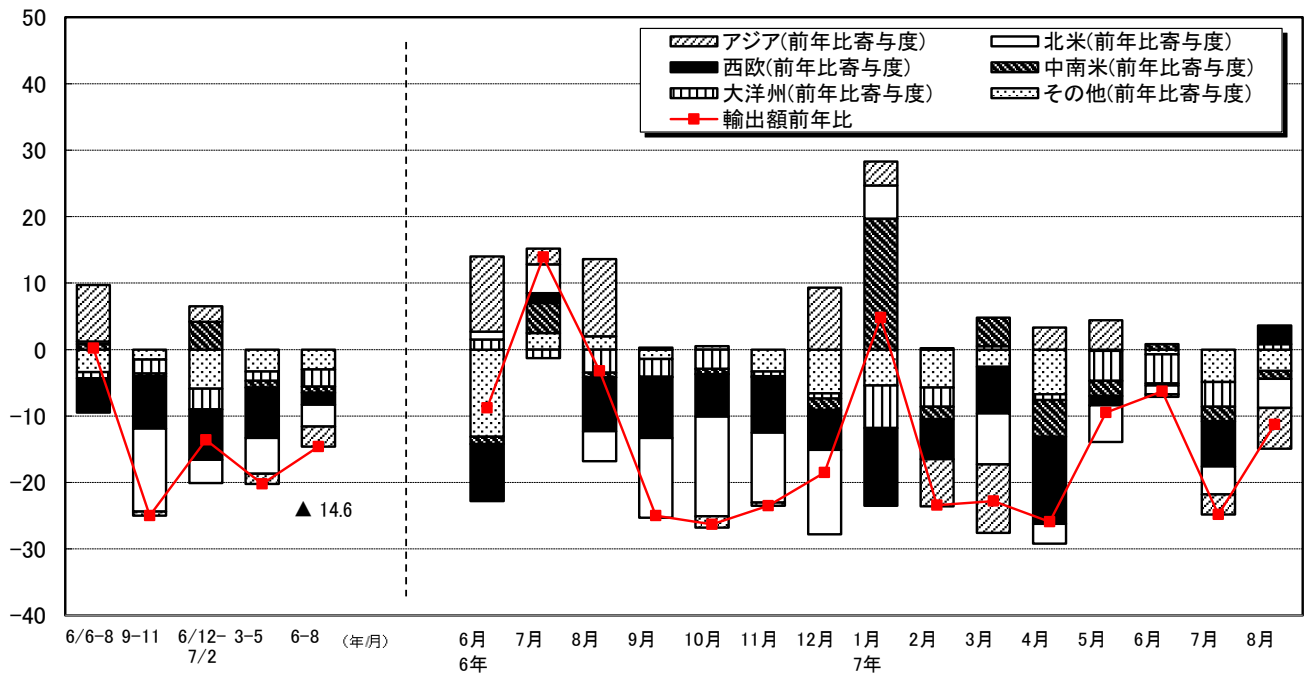
新設住宅着工戸数(前年比)



(資料出所: 国土交通省)

8. 輸出 前年を下回る

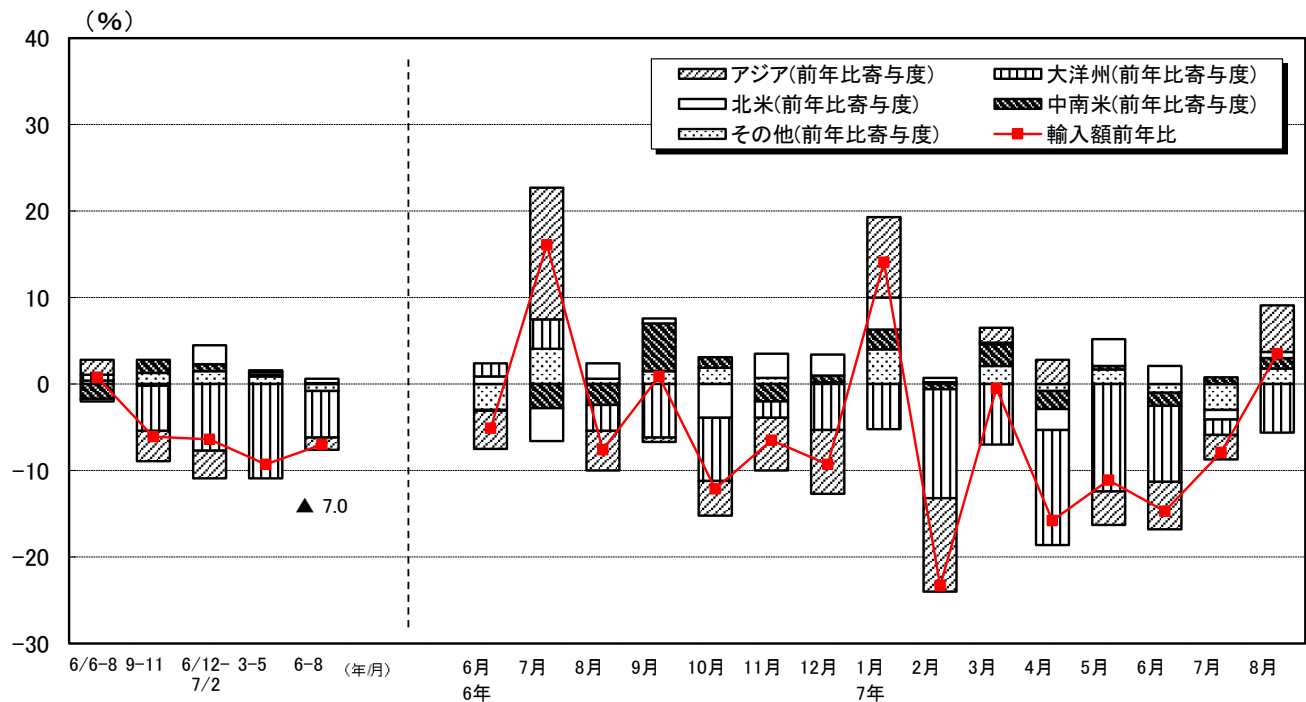
輸出(円ベース)
(%)



(資料出所: 神戸税関)

<参考>

輸入(円ベース)
(%)



(資料出所: 神戸税関)